



《朝日に照らされるスケートリンク》

## 鉢盛おろし

### 冬の風物詩

毎年、この時期になると針尾にあるアイススケート場が賑わいを見せる。今年6歳と4歳になる娘と息子は、昨年、スケートデビューをした。初めてスケート靴を履いた時は、その場に立つこともできず、転んで頭をぶつけたりして心配になったが、しばらく練習するうちに手をつないでなら滑れるようになった。

私の家はアイススケート場の近くにあり、小さい頃は、小学校が終わると毎日のようにリンクに通い、友達と過ごす日々を送っていた。当時は、スケート場に設置されたスピーカーから音楽が流れ、夕方の営業終了時間までたくさんの子も達がスケートを楽しんでいた。

このスケート場は、毎年、公民館の職員やPTA、ボランティアの協力により整備されている天然リンクだ。休日ともなると、村内外からたくさんの方がスケートを滑りに訪れる。多い時には、1日で100人を超えることもあるそうだ。平成25年には管理棟も整備され、無料のスケート靴貸し出しサービスも行われている。ここまで素晴らしい環境を無料で利用できるスケート場は滅多にはないのではないだろうか。

公民館やPTA、ボランティアの皆さんの整備活動に感謝しつつ、今年もまた子どもたちとスケートを楽しんでいる。昔に比べて、滑走できる日は少なくなっているようだが、これからも冬の風物詩としてこの光景が続いてほしいものだ。

# 新年 謹賀



公民館長  
柳沢 明

## 年頭のご挨拶

新年あけましておめでと  
ございます。

皆様におかれましては、ご  
家族お揃いで穏やかなお正月  
をお迎えのこととお慶び申し  
上げます。

年頭にあたり、公民館を代

表いたしましたして謹んで新年の  
ご挨拶を申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感  
染症が5月の連休明けから五  
類に引き下げとなりマスクを  
外しての野外活動の規制が緩  
和されました。公民館活動も  
コロナ前の状況に徐々に近づ  
けようと感染症対策を十分に  
取り行事を行って参りました。  
公民館活動の原点である「集  
う」ことが大きく制限され、受  
け継がれてきた伝統行事や住  
民同士を繋ぐイベント等は中  
止、あるいは縮小せざるを得

ませんでした。それとともに、  
人口減少や少子高齢化社会が  
進み地域の連帯感が薄れ人々  
の公民館離れに一層の拍車が  
かかることが懸念されていま  
す。

令和4年度、コロナ禍の中  
「公民館在り方検討会」が6回  
開かれました。コンセプトと  
して「やりたいことが出来る  
場をつくる」「人と人、地域の  
つながりをつくる」「学ぶ場を  
つくる」です。公民館では、「生  
涯学習だより」を年2回発行  
して各講座の受講生を募集し

ています。各講座とも好評で  
大勢の住民の皆様から受講し  
ていただいていますことに改  
めてお礼申し上げます。

昨年公民館行事は、住民  
の皆様のご協力をいただきま  
して順調に行うことが出  
来ました。本年も引き続きよ  
ろしくお願いいたします。

結びに、皆さまの益々のご  
健勝とご多幸をお祈り申し上  
げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



教育長  
百瀬 司郎

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでと  
ございます。

皆様におかれましては、晴れ  
やかなお正月をお迎えになら  
れたことと思います。年頭に当  
たり、教育委員会を代表して謹  
んで新年のご挨拶を申し上げます

ます。

昨年五月からコロナが五類  
扱いとなり、これまで数年間大  
きな制約を受けていた公民館  
活動が大きく動き始めました。  
村民の皆様のご協力で心より  
感謝申し上げます。

六月ジョグウオーク大会は、  
昨年度より参加者が大幅に増  
加し初夏の鎖川沿いを自分の  
ペースで歩いたり走ったりで  
きました。お子さんと一緒に参  
加する保護者の方が多いのも  
印象的でした。

八月お夏まつりは、昨年の花

火大会に加え踊りの祭典と子  
ぎつねの舞が復活し、朝日小唄  
等三味線や唄に合わせたの踊  
り連の賑やかさが戻りました。  
四年ぶりと思えないほどの盛  
り上がりを見せました。

秋のスポーツフェスティバ  
ルは今年も雨天で残念でした  
が、思い思いのスポーツを家族  
連れや仲間同士で楽しむ姿が  
見られました。

また各分館でも「トレッキン  
グ」「ふるさと探検隊」等それ  
ぞれ分館独自の催し物を開催  
することで地域の活性化を図

る取組みが見られてきていま  
す。

更なる役員の負担軽減、魅  
力ある講座の開発等が課題と  
して残りますが、やりたいこと  
ができる公民館、集い学べる場  
としての公民館を村民の皆様  
とともに創り上げていきたい  
と思っております。今年も積極的  
なご参加をお願いします。

結びになりますが、皆様の  
益々のご健勝とご多幸をお祈  
り申し上げます、年頭のご挨拶とい  
たします。

# 2023年を振り返ろう

2023年は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が「5類」に引き下げられ、行政対応から、個人の選択を尊重し自主的な取組をベースとした対応に変わった年でした。振り返って見ましょう。

## ◆朝日村の出来事

## ◆国内の出来事

- ◆西洗馬分館「元旦マラソン」開催
- ◆消防団出初式
- ◆住民票写しや印鑑証明などのコンビニ交付スタート
- ◆あさひ保育園「節分豆まき」開催
- ◆朝日美術館「あさひっこ展」
- ◆統一地方選挙に向け、住民大会・朝日小にて勉強会
- ◆あさひ保育園卒園式・朝日小学校、鉢盛中学校卒業式
- ◆福祉の集い、子供たちが福祉を学ぶ
- ◆新西洗馬水道橋完成、通水式開催
- ◆新公民館役員体制にてスタート
- ◆あさひ保育園入園式・朝日小学校、鉢盛中学校入学式
- ◆統一地方選挙行われ、新体制決定
- ◆朝日村村長・議会、新体制にてスタート
- ◆朝日村消防団総合訓練2年ぶりに実施
- ◆分館運営委員研修会開催
- ◆鎖川ジョグ・ウォーク開催
- ◆朝日小学校運動会開催
- ◆小野沢分館トレッキング、針尾分館ふるさと探検開催
- ◆子ども食堂「カレー大作戦」開催
- ◆鎖川やまめ稚魚放流、やまめつかみ取り大会開催
- ◆各分館納涼祭4年ぶり開催
- ◆朝日村お夏まつり4年ぶり開催
- ◆鉢盛山登山マラソン開催
- ◆小野沢防災広場竣工
- ◆朝日村地震防災訓練実施
- ◆朝日村戦没者慰霊祭
- ◆朝日村大博覧会・ポリシチまつり開催
- ◆あさひ保育園運動会開催
- ◆朝日村体育祭「スポーツフェスティバル」開催
- ◆クラブ体験館まつり開催
- ◆朝日小学校音楽会、全学年が集い開催
- ◆朝日村文化祭・表彰式開催
- ◆朝日小学校150周年イベント開催
- ◆わくわく館でクリスマス会・AYTでサンタの洞窟開催
- ◆あさひ保育園でクリスマス会開催
- ◆スキー場、スケート場 オープン

- 1月
- 2月
- 3月
- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月
- 10月
- 11月
- 12月

- ◆皇居一般参賀が3年ぶりに事前申し込みにて開催
- ◆岸田首相が「異次元の少子化対策」を表明
- ◆通信アプリで「闇バイト実行役に指示」の容疑者逮捕
- ◆東京五輪・パラリンピック関連談合容疑で関係者逮捕
- ◆JAXA「H3」1号機、打ち上げ失敗
- ◆WBCにて、日本14年ぶり3度目の優勝
- ◆日銀新総裁に経済学者の植田和男氏就任
- ◆岸田首相演説会場に爆発物投げ込みの男、逮捕
- ◆G7サミット広島市で開催、ウクライナ大統領も参加
- ◆中野市で発砲立てこもり、4人殺害逮捕
- ◆陸自射撃訓練場で、候補生が銃撃2人死亡1人重傷
- ◆LGBT法が成立
- ◆小田凱人選手(17歳)、車いすテニスで四大大会制覇
- ◆ピックアップによる保険金不正請求が判明
- ◆東電福島第一原発の処理水、海洋放出開始
- ◆北口榛花選手、世界陸上やり投げで初優勝
- ◆夏の平均気温過去最高、記録的猛暑
- ◆第二次岸田再改造内閣発足、女性閣僚5人過去最多
- ◆消費税のインボイス(適格請求書)制度開始
- ◆藤井聡太竜王、史上初八冠独占達成
- ◆大谷翔平、満票で2回目のメジャーMVP受賞
- ◆人里に出没した熊被害、過去最多と発表
- ◆井上尚弥、史上2人目となる2階級4団体王座統一
- ◆自民派閥の政治資金問題発覚、岸田政権最大の危機

## 2023年の漢字

その年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」。2023年は「税」が選ばれました。それは、1年を通して税の議論が行われ、「たばこ増税」「インボイス制度」などの改正や検討が行われたことが理由となったようです。ちなみに、2014年にも消費税引き上げが行われ「税」が選ばれており、2回目となりました。

# 税

## ～朝日村の人口・世帯数～

(前年比)

人口 4,317人(-42人)

男性 2,123人(-13人)

女性 2,194人(-29人)

世帯数 1,543戸(-1戸)

(2023年12月31日現在)



# 半世紀以上にわたり活動を続けているグループ 「朝日村史談会」の紹介

朝日村史談会長 上條孝也

## 一、史談会のあゆみ

朝日村史談会は、アジアで初めて開催された東京オリンピックの翌年の、昭和40年に、三村邦雄氏・清沢芳郎氏など歴史に造詣が深く、興味のある方々が集い発足しました。初代会長に三村邦雄氏が就任され、史談会活動が始まりました。その活動は、今まで50年以上の長きに亘り脈々と活動を継続しています。発足当時の世相といえば「いざなぎ景気」で、3C（カー・クーラー・カラーテレビ）が飛ぶように売れ、テレビのプロレス中継に夢中になり、朝永振一郎さんがノーベル賞を受賞した時期でもあります。

そのような世相の中、郷土の歴史に関する調査研究を行い、文化財等の保護・保存、併せて会員相互の親睦と知識の向上などに取り組んできました。そして少しでも郷土文化発展に寄与する為に、史談会の歴史を繋いできました。現在は会員数30名程

で楽しく活動を続けています。

## 二、活動内容の紹介

最近では毎月最終の金曜日に、中央公民館で朝日村誌を中心に、輪読をしながら知識の向上や、先人の知恵を過去の歴史から学ぶべく例会（談話会）を行っています。併せて各人で調査・研究や新たに発見した資料などを持ち寄り、討議を重ねています。また、村内外での史跡探訪など随時計画して見聞を広めています。

その活動内容を記録して後世に伝えるべく、朝日村史談会だより「くまくぼ」を発行しています。平成11年に第1号を発行し、現在283号になります。少し発足当時の「活動記録」や史談会だより「くまくぼ」から、幾つかの活動を項目のみ抜粋し紹介したいと思います。

### \*昭和時代の活動

- ・ 洗馬の牧について
- ・ 西洗馬より出土の古銭について

### \*平成時代の活動

- ・ 塩田平方面見学
- ・ 高遠方面旧跡探訪
- ・ 針尾、古見史跡調査
- ・ 古薬師跡及びびね城跡調査
- ・ 塩原伊予之丞研究と鉢盛山水路跡調査
- ・ 古文書解読講座開催
- ・ 諏訪八ヶ岳西南麓考古遺跡見学
- ・ 波田若沢寺跡見学
- ・ 山形村史談会との交流会
- ・ 木曾義仲伝承について
- ・ 武居城調査
- ・ 弘法山古墳、森將軍塚古墳見学
- ・ 古文書解読講座開催
- ・ 三村氏について
- ・ 會津八一、洞月上人について
- ・ 塩原伊予之丞の痕跡を訪ねて
- ・ 今井の水論山論について
- ・ 木祖村を訪ねて（味噌川方面）
- ・ 高遠城周辺を探索
- ・ 朝日村誌輪読による勉強会

### \*令和時代の活動

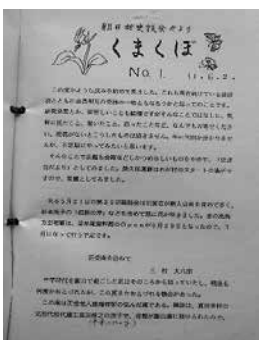
- ・ 「塩原伊予之丞の足跡」研究
- ・ 朝日村誌輪読による勉強会
- ・ 村内道祖神巡り
- ・ 味噌川の用水路跡の探索
- ・ 朝日村歴史民俗資料館、美術

### 館見学

- ・ 朝日村を訪れた文人たちについて
- ・ 木曾義仲伝承、伝説を訪ねて
- ・ 芦の久保神明宮、ヤタロ清水を訪ねて
- ・ 山形村清水寺訪問
- ・ 古川寺、大古見神社訪問

朝日村史談会だより「くまくぼ」は、現在会員および村教育長、山形村史談会に配布していますが、朝日村歴史民俗資料館でも事前予約で閲覧可能です。また今後、「くまくぼ」のCD化なども検討し、広く公開していきたいと思っています。

歴史はただの出来事ではなくその時代を生きてきた人々の物語があると思います。これからも先人たちの高邁な精神を受け継ぎ、皆さんも私たちと一緒に、歴史・自然・文化・伝承などを大切にして、郷土の宝を再発見してみませんか。



朝日村史談会だより「くまくぼ」第1号発行（平成11年6月2日）



塩原伊予之丞開拓の鉢盛山水路跡を探索（平成16年）



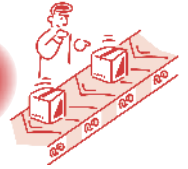
武居城・重ね城を訪ねて（平成20年）



朝日村歴史民俗資料館にて研修会開催（令和5年）



# おらが村の地元職 12



## 株式会社高原ベジフル

今回ご紹介するのは、西洗馬に事務所を構える株式会社高原ベジフルさんです。

ベジフルさんは、平成5年5月に設立された野菜の卸売業を営む会社になります。扱う野菜は信州産の高原野菜です。具体的には、レタス、グリーンリーフ、キャベツ、白菜、青ネギ、長いも等になります。

取材に訪れた12月は、白菜、長いもなどの販売が盛んでした。資材置き場には、ところせましとコンテナが積み重ねられており、このコンテナが、ベジフルさんのこだわりだそうです。ダンボール詰めと違って重ねても、重さに耐えられることにより、野菜の新鮮さを保てるそうです。またプラスチックの箱でするので、雨に濡れても大丈夫で、取り扱いが楽です。さらに次回



旬の白菜

の発送の際に箱を回収するので、ゴミを出しません。残念ながら、個人への販売は、行っていないようですが、朝日村の農家さんには身近で、心強い野菜流通会社ではないかと思いました。



入口の看板



## 信州スクリーン印刷工業

「信州スクリーン印刷工業」は鉢盛中学校近くの大原桜台地区にあります。現在は周囲に50戸以上の住宅があり山形村方面には横出ヶ崎地区の住宅や工場などもあり、屋混んでいます。現在代表の上條一史さんのおじいさんが住み始めたころは野っばらの一軒屋と言うことから略して「原の一軒屋」と呼ばれていました。

創業は1978年、約四十五年先代が敷地内にあつた物置小屋を改装して大型のラジオ・カセットテープレコーダーの操作面のスクリーン印刷を主とし松本市内の工場へ納入していたとのこと。また、組み立てたラジカセはアフリカにも輸出されていたそうです。

その後、養生シートの加工印刷を開始し、1980年代から始まったバブル時代になると瀬戸内大橋の建設、空港の建設、一般住宅の建築等の養生シートの加工印刷の需要が高まり、「新築中の一戸建て住宅には社名入りシートを飾る」、「建設中ビル全面を社名入りシートで被う」のが常識だったそうです。こうし



代表 上條一史さん

た工事現場へは何千何万枚と養生シートが資材として出荷されたそうです。建設会社のロゴを印刷された養生シートが毎日出荷され、集荷時間に間に合わない時はトラックで運送会社へ持込むなど忙しい毎日だったそうです。

現在は、ホームセンター等に陳列されている「養生シート」やオーダーサイズなどの「塩ビシート」の加工印刷が主体となっています。

【連絡先】  
☎ 99-2596  
FAX 99-3407





## サラダの里通信

### 映像クリエーション講座

12月10日(日)公民館講堂で第二回目の映像クリエーション講座が開催されました。この講座は努力次第で、自分のスマホやタブレットで、動画を撮影し、編集を行い、その映像を見せ合うまで導いてもらえます。ただ単に撮影、編集といった技術的なことにとどまらず、動画投稿サイトの紹介、いろいろな撮影機材の紹介、動画編集ソフトの紹介、映像の著作権に関する講義等、基礎知識が一通り学べます。講師の方は、受講者お一人お一人に声をかけ、その方の進み具合に合わせてアドバイスを行っていて、受講者の笑顔が見受けられました。



リラックスして受講されている皆さん

### あさひ やってみんな活

12月16日(土)公民館講堂で七回目の「やってみんな活」が開催されました。この講座の名前は、「朝日村 やってみんなさんでやりたいことを企画し、やってみるとの内容です。日頃何かやってみたいが、一人ではズクが出ないといった方にお勧めです。

このイベントを企画した公民館の方に、このイベントの狙いをお聞きしたところ、「自己実現のための場の提供」「探求の場の提供」「コミュニケーションの提供」等々だそうです。

さて、七回目の内容はクリスマスリース作りでした。みなさん集中して楽しそうに、リースを作られていました。



リース作りに集中している参加者の方

### 西洗馬分館元旦マラソン

令和6年1月1日(月)、西洗馬分館で40年以上続く元旦マラソンが、雲間からさす初日を浴びながら開催されました。

今年も「開・閉会式等のセレモニーなし」「受付順にスタート」「走っている時以外のマスク着用」「ゴール後景品を受け取り流れ解散」「集団でおしゃべり等しない」等、新型コロナウイルス感染症

染防止を考慮しての開催となりました。

参加者約190人、それぞれのペースで家族・友人と一緒に、楽しみながらコースを一周し、気持ちの良い1年のスタートとなりました。

祝第13回  
元旦マラソン



コースと参加者

### 公民館講座 副業・起業 学べる「小商い講座」

この講座は、趣味や興味のあるものを副業にして起業したい方を対象とした全3回の講座です。

12月19日(火)第1回の講座が行われ、塩尻市のシビック・イノベーション拠点「スナバ」の草野エリさんと、実践者である朝日村の「さとわ農園」の舟生里さんから事例発表を聞きながら小商いについて学びました。

舟生さんは「小さな笑顔(幸せ)を食卓に届ける」を基本理念に農業(野菜生産事業)を主に生業としていますが、講師として農業経営の中で常々起こる喜怒哀楽のネタの提供や新規就農者向けに栽培技術や経営ノウハウを提供するなど野菜非生産事業も行っています。

講座では「ちょっとやってみたいことがあってやってみれば何かしら

プラスで返ってくる。がむしゃらに行動したことが自分の目指すものに繋がった」と話がありました。

この日の参加者は、全員都会からの移住者で「最後に人生好きなことをやって経営に繋がっていきたい」「生きていく上で小金が必要で何かを生み出したい」など各々思いがありました。

全3回の講座を通じて、副業・起業の実現に向けた最初の一歩となってほしいですね。



さとわ農園 舟生里さん



小商い講座



## 放課後児童クラブわくわく館 クリスマス会

12月13日(水)朝日村子育て支援センターわくわく館で放課後児童クラブのクリスマス会が開催されました。クリスマス衣装に身を包んだ子どもたちによる合奏やピアノ演奏、紙しばい、特技の披露などがありました。二人組によるコントもあり、芸人を真似たポーズの度に笑いが溢れ、会場も大盛り上がりでした。締めは館長先生によるマジック。子どもたちが次第に前に集まってきて身を乗り出し、何とかからくりを見破ろうとして見入っていました。



おり紙グループのみなさん

## あさひ保育園 クリスマス会

12月22日(金)あさひ保育園でクリスマス会が開催されました。クリスマスのお遊戯を楽しんでいたら、突然サンタさんが鈴の音と共に現れ、子どもたちも大興奮。あつという間に子ども達に囲まれたサンタさん、ハイタッチで子どもたちと親睦を深め、プレゼントは後で先生たちから受け取ってね、と言って颯爽と帰っていききました。気づけばいつの間にかクリスマスツリーの下に白い袋が沢山置かれていました。それに気づいた子どもたち、クリスマスツリーの下に駆け寄っていました。



クリスマスツリー サンタさんとハイタッチ

## あさひプライムスキー場オープン

12月23日(土)今年も「あさひプライムスキー場」がオープンしました。積雪の少なさが懸念されましたが、緩い斜面のファミリーゲレンデは滑走可能に村内外のスキーヤーの方々が初滑りを楽しまれました。特にこの日を待ちわびたチビツ子スキーヤーたちは、楽しそうに何度も滑走していました。あさひプライムは小規模ながらこの地域の小学校スキー授業にはうってつけのスキー場となっております。毎年沢山の児童たちが訪れてはスキーを楽しんでいます。初めてのゲレンデを体験したり、或

いは技術向上を目指して練習をしたりと中身に差はあっても、スキーというウインタースポーツを通じて健やかな身体と心を育てて貰いたいものです。運営スタッフやコーチたちもそれが一番の想いと話しておられました。ひよつとしたら将来日の丸を背負う選手になるような子もいるのかも知れませんが、夢のある話です。営業は2月未まで毎週末にはファミリー向けのイベント等も計画されています。さあ「娘をスキーに連れていこう」てな具合で。



スキー場の様子

## サンタの洞窟

12月23日(土)村内クリスマススイベントとして『第2回サンタの洞窟』が開催されました。サンタに扮するのは地域起こし協力隊員のマーク・フィッツジェラルドさん、アシスタント役のエルフには奥さまの和泉さんです。『サンタの洞窟』とはマークさんの母国イギリスでクリスマスシーズンに欠かさず行われる行事だそうで、子どもたちが薄暗い洞窟に潜むサンタを訪ね、そこでサンタと話をしたりプレゼントが貰えたり、という事が行われるそうです。会場はクリスマス・デコレーションが飾り付けられ、テントで暗い洞窟が演出されています。

英語しか話せないサンタに一目逢おうと子どもたちが長蛇の列……。まるで本物のようなサンタに英語で話しかけ、お土産を貰ってとても嬉しそうでした。さすが英国人だけあって日本人では到底出せないリアル感がありましたね。子どもたちにとってもとても貴重な体験となったのではないのでしょうか。これはご夫妻の協力隊活動の一環として行われたイベントでしたがたとえ任期が終わっても継続開催が何とか出来ないのかなあとも思われます。「朝日村にはサンタがいる!」って素敵なことじゃありませんか。



サンタに扮したマークさん



雪だるまの誘導員





## 窓口情報

※本人の了承を得て掲載しています。

### おめでた

地区名	出生児	月日	父	母
下洗馬	小林 颯	11・2	稔 綾	奈
古見	上條 蓮那	12・14	蓮 虎	芹 那

### おくやみ

地区名	氏名	年齢	世帯主
芦之久保	上條 せつみ	97	上條 英子
沢 下	粟津原 民子	91	粟津原 竹人
南 上	近藤 ちよ子	90	本 人
旭ヶ丘	山根 ヤス	98	山根 郁夫
北 村	清沢 きの江	94	清沢 秀寿
中 組	上條 ぎん	98	上條 正幸



## 薪ストーブのある暮らし

いま私は、薪ストーブのある暮らしをめぐりながら暮らしています。一番のきっかけは昨シーズンの冬の電気代の高さにびっくりしてからですが、実家で薪ストーブを使っていたこともあり、その暖かさに敵う暖房はほかにはないと考えたからです。薪ストーブには、暖かさだけでなく他にも多くの魅力を持っています。薪ストーブは、エアコンやFFファンヒーターとは比べ物にならないくらい大き

な空間を暖めることができます。赤外線による放射熱の効果がとても大きく、ヒトの肌を直接暖めてくれます。また、床や壁、天井といった建物の内側も同時に暖めます。薪ストーブの暖房性能は130㎡以上のものがほとんどで、家全体を暖めることも可能です。現代の断熱性能に優れた建物なら、とても心強い能力を持っています。



薪ストーブ



火を見ているだけでも暖かい気になりますし、時間が止まったような感覚になり、とてもリラックスできます。自然の再生可能エネルギーである薪を使用するため、環境にも優しいです。手間が掛かるとは思いますが、手間も楽しめるように心がけて、暖かい冬をすごせるようになればいいと思います。



## みんなのアトリエ



朝日小学校 1年1組  
にがや あかね  
二茅 茜さん  
「さるかにばなし」

サルがカニに柿を投げつける場面をかきました。



朝日小学校 1年2組  
みやばやし こはる  
宮林 杏春さん  
「だいこんどのむかし」

ダイコンをぬこうとしている場面をかきました。



朝日小学校 6年1組  
かみじょう ほやと  
上條 隼人さん  
「ピッチャー」

頭のとっぺんから針金が飛び出ないように工夫しました。